

分野	専門分野	科目名	小児看護学概論
時間	15時間	開講時期	1年次（後期）
講師名	専任教員		
科目目標	1. 現代の子どもと家族の状況をとらえ、小児看護の役割と課題を理解できる。 2. 子どもにとっての家族とは何かを理解するとともに、家族の特徴とアセスメントの必要性を理解できる。 3. 小児各期の成長・発達にかかわる知識について学び、発達の評価方法が理解できる。 4. 発達段階各期の子どもの成長・発達、健康、家族、看護について理解できる。 5. 子どもと家族を取り巻く社会について理解できる。 6. 障害の概念、障害児と家族の特徴、社会的支援など、障害児看護の基本知識を理解できる。		
講義形態	①講義・演習		
実務経験教員による授業の概要	看護師の実務経験を持つ教員が、小児看護を取り巻く環境や小児やその家族をどのように支援していくかについて講義やグループワークを行う。		
講義内容			
1. 小児看護のめざすところ 2. 小児と家族の諸統計 3. 小児看護の変遷 4. 小児看護における倫理 5. 小児看護の課題 6. 成長・発達とは 7. 成長・発達の進み方（一般的原則） 8. 成長・発達に影響する因子 9. 成長の評価 10. 発達の評価 11. 形態的特徴 12. 身体生理の特徴 13. 感覚機能 14. 運動機能 15. 知的機能 16. コミュニケーション機能 17. 情緒・社会的機能 18. 各期の養育および看護 19. 子どもにとっての家族とは 20. 家族アセスメント 21. 児童福祉 22. 母子保健 23. 医療費の支援 24. 予防接種 25. 学校保健 26. 食育 27. 特別支援教育 28. 臓器移植 29. 疾病・障害が小児と家族に与える影響 30. 子どもの健康問題と看護 31. 障害のとらえ方 32. 障害のある子どもと家族の特徴 33. 障害のある子どもと家族への社会的支援			
【テキスト／参考文献】			
医学書院 系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論			
【評価】			
学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			